

令和8年1月28日(水)

稲作における高温対策WEB勉強会

筑西地域における高温耐性品種 「にじのきらめき」の導入

茨城県 県西農林事務所 経営・普及部門

(筑西地域農業改良普及センター)

稲葉 大貴

背景

筑西市

桜川市

下妻市



【部門紹介】

- ・管内には、筑西市、桜川市、下妻市の3市が含まれる
- ・筑西管内は関東有数の穀倉地帯で、水稲、麦類、大豆の生産が盛ん

背景

地域主力品種「コシヒカリ」において
乳白粒が増加・縞葉枯病対策が必須

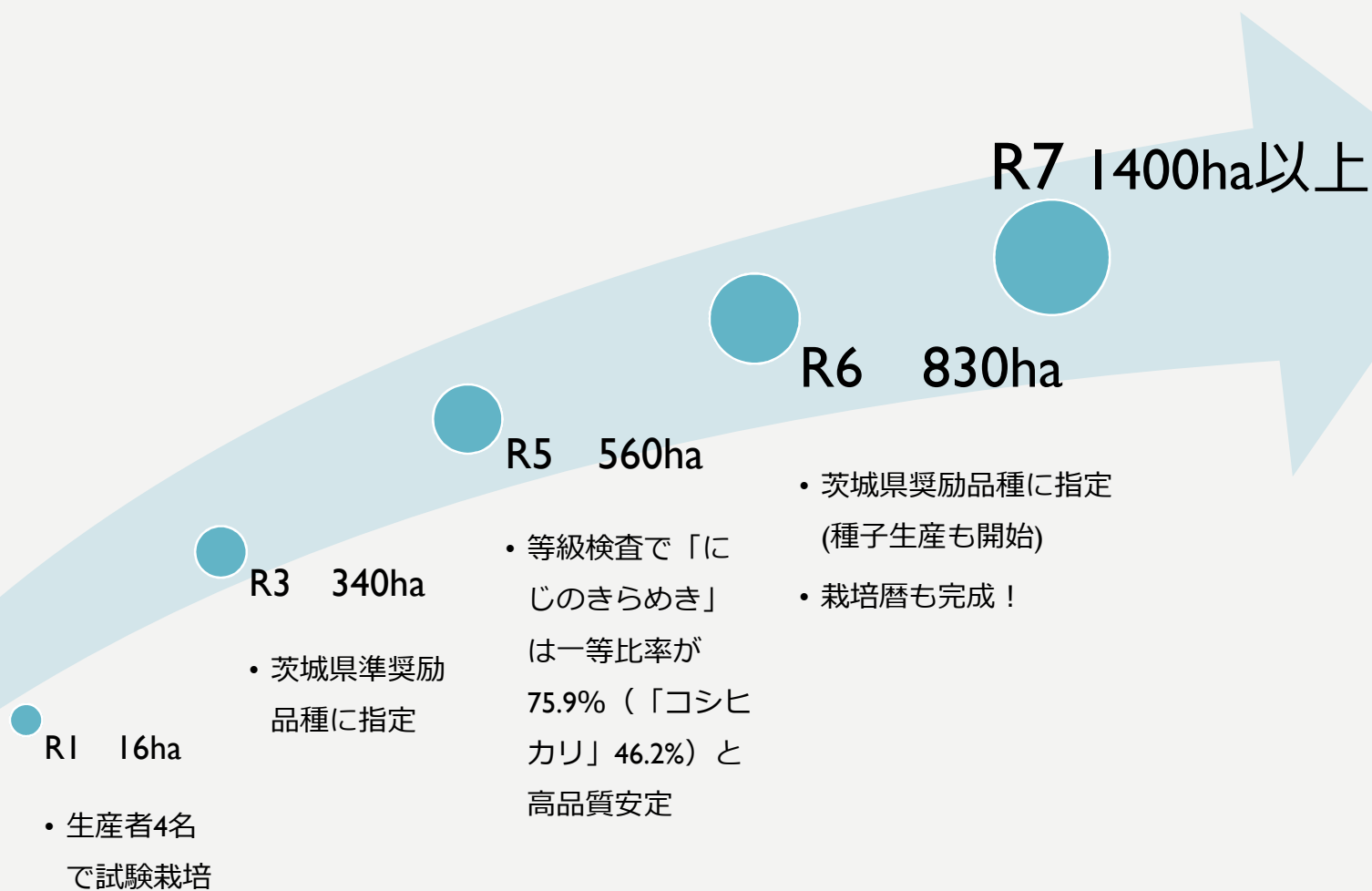


生産者が「にじのきらめき」の新聞記事から作付けを希望
生産者・JA北つくば等関係機関が連携し、
R1より栽培と販売が開始



県内での現地事例なし
栽培特性の情報わからない
⇒だからこそ、まずは作ってみる！

導入の経過



導入の経過



図 販売されている「にじのきらめき」

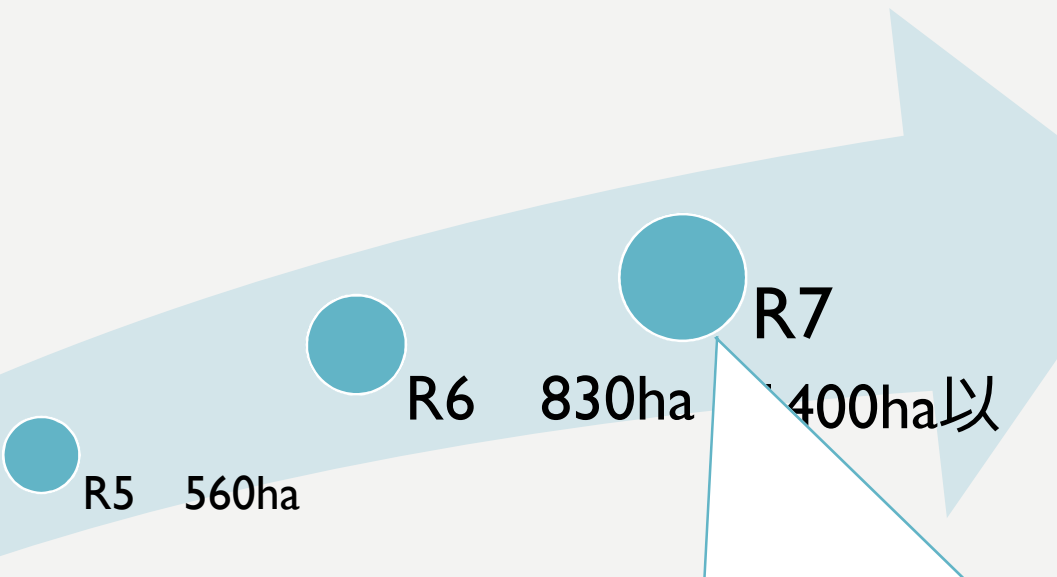
340ha

「にじのきらめき」栽培ごよみ

茨城県農業総合センター
2024年5月作成

時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
作業	育苗 播種 育苗 行定	育苗 幼穂 稲 幼穂 稲	育苗 幼穂 稲 幼穂 稲	育苗 幼穂 稲 幼穂 稲	育苗 幼穂 稲 幼穂 稲	育苗 幼穂 稲 幼穂 稲	育苗 幼穂 稲 幼穂 稲	育苗 幼穂 稲 幼穂 稲
注意事項	<p>● 播種・育苗 ・播種時の水深は10~15cmとし、浸種期間は120~130cmを目標とする。 ・「コシヒカリ」より5~7日程度長く浸種を行う。 ・浸種後は20~25℃で管理する。 ・「コシヒカリ」より5~7日程度長く浸種を行う。 ・「コシヒカリ」より5~7日程度長く浸種を行う。 ・「コシヒカリ」より5~7日程度長く浸種を行う。</p>							
収穫	<p>● 収穫 ・収穫時期は「コシヒカリ」栽培の約15日程度を目標とした栽培を推奨する。 ・収穫後は乾燥機で乾燥機25~35℃（乾燥機1~30mm）に3kg/10aを目安に乾燥する。 ・乾燥機は「コシヒカリ」栽培の約15日程度を目標とした栽培を推奨する。 ・乾燥機は「コシヒカリ」栽培の約15日程度を目標とした栽培を推奨する。 ・乾燥機は「コシヒカリ」栽培の約15日程度を目標とした栽培を推奨する。</p>							

図 「にじのきらめき」栽培暦 茨城県農業総合センター作成



- ・これまでの主力品種は「コシヒカリ」
- ・R7産では「にじのきらめき」と「コシヒカリ」の面積が同程度となるまで拡大
- ・栽培するための情報も積みあがってきた。
- ・収量も平均して10俵/10a以上

管内での取組



栽培講習会の開催による
栽培管理技術の共有

メーカーも連携した
追肥資材の検討



生産者・JA・メーカー・行政みんなで検討

R7当部門での調査事例

		にじのきらめき ()内はコシヒカリ比	コシヒカリ
移植日 (月/日)		5/9	4/27
出穂期 (月/日)		7/27	7/22
成熟期 (月/日)		9/11	9/1
稈長(cm)		82.5 (84%)	98.6
穂長(cm)		20.9	19.6
穂数(本/m ²)		389.4 (105%)	372.0
一穂籾数(粒/穂)		102.6 (113%)	90.6
千粒重 (g)		22.6 (107%)	21.1
坪刈収量(kg/10a)		685 (143%)	480
外観品質 (%)※1	整粒	70.1	58.8
	白未熟※2	10.7	15.5

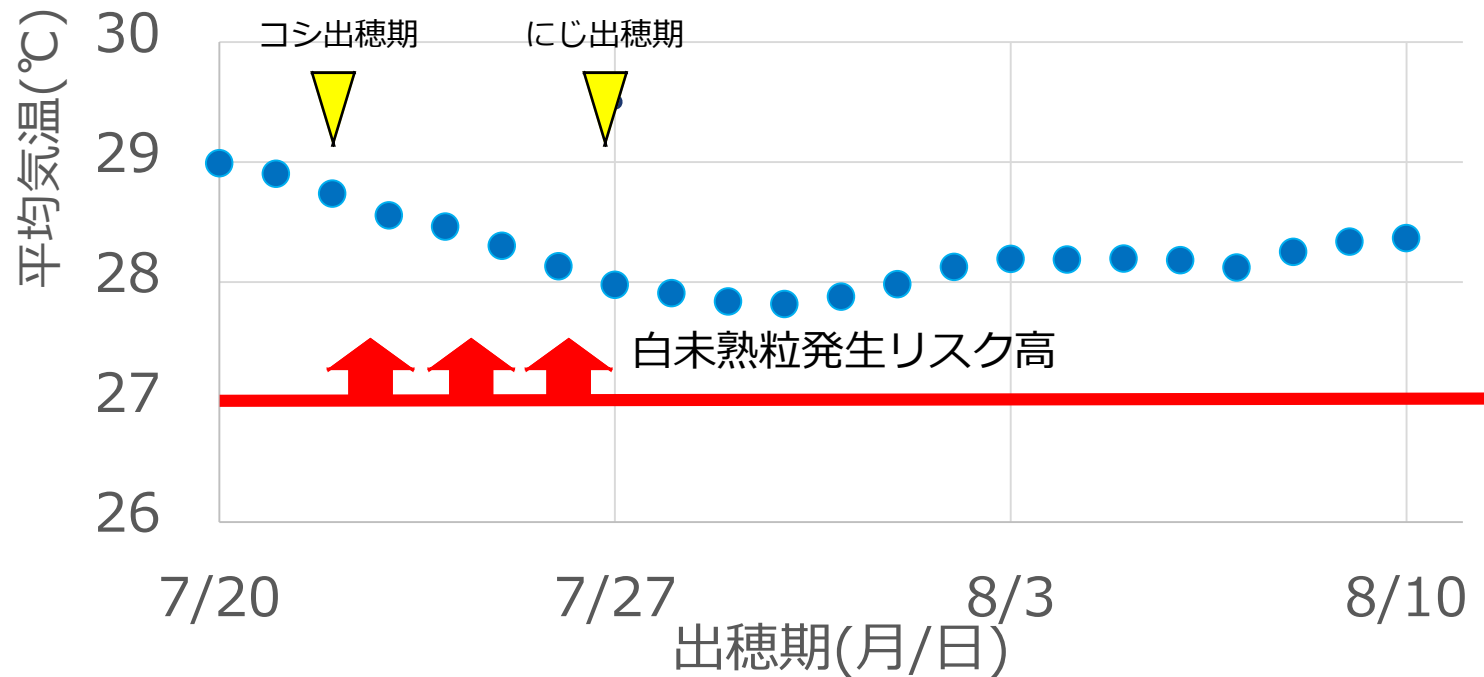
※1 外観品質 (%) は穀粒判別器(サタケRGQ110)の値。

※2 白未熟は、未熟粒のうち乳白粒、基部未熟粒、腹白未熟粒の合計。

R7当部門での調査事例

	にじのきらめき ()内はコシヒカリ比	コシヒカリ
--	------------------------	-------

令和7年出穂期と出穂後20日間の平均気温



外観品質 (%)※1	整粒	70.1	58.8
	白未熟※2	10.7	15.5

※1 外観品質 (%) は穀粒判別器(サタケRGQ110)の値。
 ※2 白未熟は、未熟粒のうち乳白粒、基部未熟粒、腹白未熟粒の合計。

生産者事例

A氏事例

経営規模	水稻30ha程度+麦・大豆・そばの大規模普通作経営体
R7水稻作付品種	「ミルキークイーン」、「コシヒカリ」、「にじのきらめき」、「夢あおば」（飼料用）
「にじのきらめき」導入の経過	「あさひの夢」収量性低下や「コシヒカリ」の品質低下から「にじのきらめき」を導入
収量・品質	<ul style="list-style-type: none">・導入3年目であるR7の収量は11俵/10aと「コシヒカリ」9俵/10aよりも高収量・品質（検査等級）については全量1等と非常に良好（「コシヒカリ」、「ミルキークイーン」が乳白粒等で2等）・収量性や品質の良さから「にじのきらめき」の作付比率は年々増加しており、R7産は主食用米面積の7割程度まで拡大
カメムシ被害	<ul style="list-style-type: none">・病害虫のなかでも特にカメムシ防除に注意している・カメムシ防除は地域慣行の有人ヘリによる防除(出穂期)に加え、ハイクリブームを用いて防除(乳熟期)を実施

生産者事例

B氏事例

経営規模	水稻55ha程度+麦・大豆の大規模普通作経営体
R7水稻作付品種	「コシヒカリ」、「にじのきらめき」、「夢あおば」 (飼料用)
「にじのきらめき」 導入の経過	<ul style="list-style-type: none">・「コシヒカリ」での白未熟増加・縞葉枯病対策から、地域での導入当初から「にじのきらめき」を作付・R7産は主食用米の9割近くを「にじのきらめき」
収量・品質	<ul style="list-style-type: none">・R7の収量は11俵/10aと「コシヒカリ」9俵/10aよりも高収量・品質（検査等級）については「コシヒカリ」が乳白粒等ですべて2等のところ「にじのきらめき」は約半分以上が1等
カメムシ被害	<ul style="list-style-type: none">・「にじのきらめき」落等要因は斑点米(カメムシ被害)・移植の早いものと遅いもので被害が大・カメムシ防除は地域慣行の有人ヘリによる防除・R8は導入したドローンを用い防除を予定

生産者事例

C氏事例

経営規模	水稻60ha程度+麦・大豆・そばの大規模普通作経営体
R7水稻作付品種	「コシヒカリ」、「にじのきらめき」、「あさひの夢」
「にじのきらめき」導入の経過	「あさひの夢」作付も、品質低下からR6より「にじのきらめき」導入
収量・品質	<ul style="list-style-type: none">・ R7の収量は10.6俵/10aで「あさひの夢」10.4俵と同等（「コシヒカリ」8.4俵/10a）・ 品質（検査等級）については「にじのきらめき」は全量1等(「あさひの夢」は2等)・ 「あさひの夢」と収量同等で品質良好のため、R8より「あさひの夢」はすべて「にじのきらめき」に切替予定
カメムシ被害	<ul style="list-style-type: none">・ カメムシ被害なし・ カメムシ防除は地域慣行の有人ヘリによるカメムシ防除に加え、近隣の生産者へドローン防除を委託

今後に向けて

耐病性、高温耐性、収量性の良さを発揮

- 地域での作付けも急拡大中

品質・収量低下の事例も

- 急拡大に伴い、「にじのきらめき」向けの栽培管理が不徹底なケースも
- 斑点米や刈遅れによる品質低下も発生

継続的な指導

- これまでも地域JA等と連携した指導を実施
- カメムシ防除や肥培管理等継続的な情報提供を予定